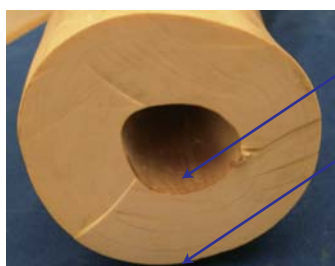
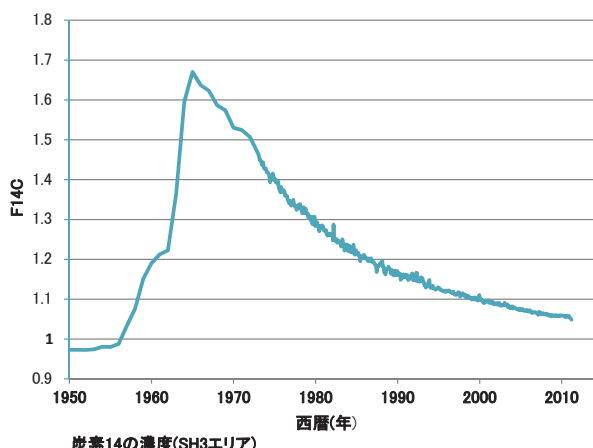


14C年代測定(象牙)

令和元年7月1日以降、国内で象牙全形牙の譲受・譲渡の際には登録票が必要で、登録票取得のための審査が厳格化します。新規登録の際、購入時の領収書などの書類がない場合は、適法に所有したという裏付けとして、放射性炭素年代測定等の結果が必要となります。本来放射性炭素年代測定は、細胞死のあと、遺体に含まれる炭素14が遺体の中で指数関数的に減少する性質を利用したもので、考古遺物などの測定に用いられます。1950年以降、核実験の影響で炭素14の値が大きく変動するため、炭素14の濃度から分解能の高い年代を求めることができ、適法に取引された象牙である証拠の一つとなります。



この部分(歯髄)を採取します。

2点採取する場合は、外側からもう1点採取します。

全体の形状と試料採取部分(採取前、採取後)を写真撮影し、記録を残します。

採取に必要な用具

- ・ラテックス手袋
- ・チャック付ポリ袋
- ・小型の葉さじ
- ・彫刻刀、カッター
- ・清掃用エタノール
- ・アルミホイル
- ・紙製ウエス
- ・カメラ



採取量の例
写真の量が約0.1gです。

法令によって、象牙全形牙は分析目的であっても移動することは違法なので、試料採取はご自身で行う必要があります。当社では、採取マニュアル、採取キットなどをご用意し、採取方法をサポートいたします。ご連絡の際にお申し付けください。また、電話、FAX、メール等での相談にも応じます。その他、別途交通費等が発生しますが、当社社員が採取に伺うことも可能です。

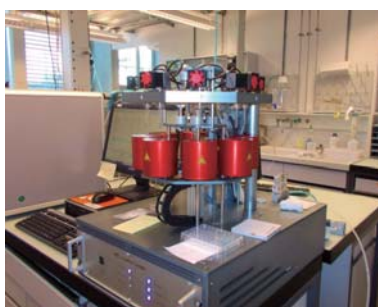
採取は、コラーゲンが多く残っており、代謝が最後まで行われていた歯髄(穴の空いている部分)の最も内側を不純物の混入に注意しながら採取します。試料は0.1gくらいが適量です。上記の図でわかるように、炭素14濃度が同じでも2つの年代結果が出る場合があります。その際、外側の試料も分析し、代値の違いによって結果を絞り込める場合があります。事前に内外2試料採取し、先に内側の試料を測定し、結果によって外側の試料も分析するようにすると、値段が安くなります。

採取試料は、アルミホイルに包んだあと、チャック袋に入れ、当社に送付してください。結果が出ましたら、報告書をお送りします。内容にご不明な点がございましたら、電話、FAX、メール等での相談にも応じます。

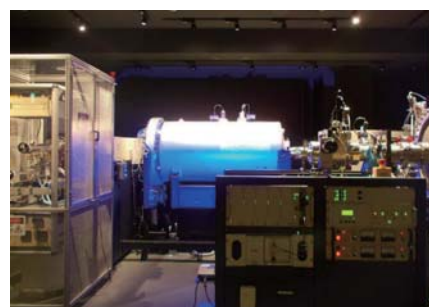
価格は、納期、個数、依頼時期によって変動します。詳しくはお問い合わせください(参考価格:納期2ヶ月の場合、1本1ヶ所測定で80,000円、2ヶ所測定で150,000円(税抜き))。



抽出されたコラーゲン



グラファイト合成装置



加速器質量分析機

< 問い合わせ先 >

375-0011 群馬県藤岡市岡之郷 559-3 パリノ・サーヴェイ株式会社 研究所
tel.0274-42-8129 FAX 0274-42-7955 担当: 田中義文 e-mail:office@palyno.co.jp

